

一 般 質 問 通 告 書

平成24年6月定例会

1 番 矢 田 松 夫 議 員

1 JR美祿線・小野田線の利活用について

- (1) 市独自の活動状況を問う。
- (2) 公共交通の事業者であるJRに対し、利用客増加等について強く要請すべきではないか。

2 厚狭地区の公共施設の再編について

- (1) 地域住民との合意形成をどうとるのか。
- (2) 旧施設の跡地対策も同時進行させるべきではないか。
- (3) 再編後の山陽総合事務所の機能強化について問う。

2 番 平 原 廉 清 議 員

1 当市の観光行政を問う。

- (1) 先の国体について、当市の観光という観点からの結果分析は行っているか。いればその内容を。
- (2) 観光協会が「山陽小野田観光検定ガイドブック」を作成したが、このブックの作成意図及び利用方法を問う。
- (3) 江汐公園は4月から当市へ移管された。江汐公園は「日本に誇れるほどの公園」との声があるが、執行部の見解を聞く。
- (4) 江汐公園以外に誇れる公園はないのか。
- (5) 23年度予算において「にぎわいと活力にみちたまちづくり」として、観光資源景観整備事業が新規事業として、市内の景観整備を行い観光客の受け入れ態勢を整えることとなっていたが、その成果を簡潔に答えてほしい（美祿線の利用促進の項目は答えは不要）。
- (6) このたび市に「商工労働観光課」が設置されたが、観光についての活動の具体的内容を聞く。
- (7) 市が掲げる「観光の振興」のターゲットについて聞く。
- (8) 庁内に事務所を有する山陽小野田観光協会の性格を聞く。
- (9) 江汐公園振興会という団体の性格と役割を聞く。

3 番 下 瀬 俊 夫 議 員

1 厚狭消防署用地購入問題について問う。

- (1) F D K用地購入の経緯と契約について聞く。
- (2) 公共用地購入のあり方について聞く。
- 2 一般廃棄物処理行政について問う。
 - (1) 一般廃棄物処理業者への許認可権はだれにあるのか。
 - (2) 許認可に瑕疵がある場合にはどう対応するのか。
 - (3) 一般廃棄物処理料金の問題について聞く。
- 3 教育行政について問う。
 - (1) 「小中連携校」と「小中一貫校」は同義語か。
 - (2) 給食センター建設をなぜ1カ所から2カ所に変更したのか。
 - (3) 2カ所への変更に伴う今後の手続について聞く。

4番 衛藤弘光 議員

- 1 新ごみ処理施設の建設と市民病院の建設について
 - (1) 市民病院の建設は地元活用型総合評価落札方式による条件つきで、一般競争入札とのことだが、具体的な説明を求める。
 - (2) 新ごみ処理施設は一般競争入札で行うのか。
- 2 有帆中村の市道について
 - (1) 市道に、いまだ側溝が整備されないがなぜか。また地域住民の方との約束はどうなっているのか。
 - (2) 今月は環境月間であるが、この地域の住民は快適な生活ができていると思っているか。
 - (3) 予算の枠配分と言うが、特別枠で処理できないのか。(年度重点目標に上げての取り組みの実施)

5番 山田伸幸 議員

- 1 社会保障関連の市民負担軽減策について
 - (1) 国民健康保険料負担軽減の実施状況
 - (2) 資格証明書の対象者数推移と無保険者の把握状況
 - (3) 介護保険料の市民負担軽減策実施の考え方
 - (4) 介護サービス利用料の軽減の考え方
- 2 児童登校路の安全対策について
 - (1) 市内全域の登校路調査の実施状況
 - (2) 危険な登校路への対策
- 3 自然エネルギー活用と地域の雇用について
 - (1) 自然エネルギーの地産地消への取り組みの考え方
 - (2) 雇用への波及効果があると考えているか。

6番 河野 朋子 議員

1 事業評価について

(1) 現在の評価システムの問題点について

- ア 目標の設定や成果指標、達成率などに問題はないか。
- イ 市民への公表はどうするのか。

(2) 現在の評価システムを今後どのように改善していくのか。

2 給食センター建設について

(1) 基本計画について

- ア 方針を修正した理由
- イ 今後の予定

(2) 米飯委託について

- ア 現在の契約形態
- イ 委託方式を続ける理由

7番 石田 清廉 議員

1 市の業務委託における契約制度の基本方針について現状と課題について問う。

(1) 総合評価入札制度において価格評価、技術的評価、公共性評価（福祉、環境、災害時の業務体制）などの評価項目はあるのか。

(2) 最低制限価格制度の業務委託における予定価格算定は、明確な算定基準に基づいたものか。

(3) 低入札価格調査制度において、業務の質の確保や当該業務で働く労働者の労働条件など考慮されたものなのか。

(4) 長期継続契約は多くは事務用機器、計測機器、輸送用機器、物品の保守点検、維持管理などだが、複数年度を視野に入れた契約の取り組みがされているか。

(5) 総務事務アウトソーシングは課ごとの独立性が強い庁内体制では事業者が各課ごとの調整をしなければならない状況と考えるが、部局横断的な意思決定ができる体制はあるのか。

(6) 行政の業務を民間委託する意義と目的は行財政の効率化・スリム化を図り市民への行政サービス向上を目指すための施策であり有効と考えるが、安価な労働力の差しかえになってはいないか。

2 埴生地区小・中施設一体校建設事業はさらに計画の見直しがされているのか進捗状況を問う。

(1) 地域住民・保護者などへの計画の説明が不十分とのことで計画の白紙

撤回、再検討を求める請願書が提出され、継続審議になっているが、一体校事業について今後の方針を問う。

- (2) 教育施設の建設計画はまちづくりの大きな核となり、さらに子供たちにとっても教育環境の改善は重要かつ緊急性のあるものだ。この事業が遅延あるいは廃案になるようなことがあってはならないと考える。それには地域住民に対して説明責任が果たせるよう、確信を持って事業計画の推進を図るべきではないか。

8番 松尾数則 議員

1 自殺対策について

- (1) 自殺をする原因の把握は十分にできているか。
- (2) ゲートキーパーの役割とその活動について聞く。
- (3) 心の病気に対する市民病院の対応はどうなっているか。
- (4) 子供を含む学校関係者の対応はどうなっているか。
- (5) 自殺予防デーに向けてどのような活動を行うのか。

2 入札制度について

- (1) 市民病院建設にあたり、発注はDB方式で、選定は地元企業活用を重点評価項目とする総合評価落札方式を用いた一般競争入札により行うようであるが、そのメリット、デメリットは何か。
- (2) 競争入札参加資格について

9番 高松秀樹 議員

1 江汐公園の有効活用について

- (1) 江汐公園は本年4月に県から本市に移管をされたことにより公園の運営や環境整備について、これまで以上に自由な裁量で行うことが可能であると思われる。さらに平成25年度から指定管理者制度により民間活力を活かした方式をとられると聞いているが、今後はどのようなコンセプトで公園づくりをしていくのか。
- (2) 現在休止中の江汐湖のボートを復活する予定はあるのか。
- (3) 公園内のトラブル防止と愛犬家のマナーアップ及び交流人口増加による地域活性化のために公園内にドッグランの環境を整備したらいかがか。

2 学校給食センターについて

- (1) 山陽小野田市学校給食センター基本計画では「5,500食規模1センターの建設」と明記されているが、先日の常任委員会では2センター建設を示唆されている。学校給食センターを何カ所つくろうとしているのか。

- (2) 米飯炊飯についても外部委託を継続するのか。
- (3) センターにおいてはアレルギー対応をどのように行おうとしているのか。
- (4) 自校・親子方式とセンター方式の残食についてどのようにお考えか。
- (5) 配送計画に無理はないのか。
- (6) 食中毒のリスクをどのようにお考えか。
- (7) 学校行事と連携した給食の提供は可能か。

10番 岩本信子 議員

1 学校給食について

- (1) 給食センター基本計画のパブリックコメントについて、教育委員からどのような意見が出たか。
- (2) 1センターから2センター共同調理場に見直しているが、他の検討はしたのかどうか。
- (3) 学校給食に対するビジョンと計画は策定されているのか。
- (4) 米飯給食についての考え方はどうか。
- (5) 栄養教諭の必要性をどう考えるのか。
- (6) 食に関する指導に係る計画はどうか。

2 行財政改革について

- (1) 行動計画の進捗状況と公表はどうか。
- (2) 民間委託や民営化の推進はどうか。
- (3) 改革プランと行動計画の策定について

11番 吉永美子 議員

1 現代ガラスの取り組みについて

本市独自の取り組みを県内外に発信するための施策について聞く。

2 環境問題について

(1) 緑のカーテン事業について

ア 広く普及させるため、公共施設での取り組み状況および事業者への協力依頼状況について聞く。

イ 環境教育としての効果が期待できることから、小中学校における取り組み状況について聞く。

(2) ライトダウンキャンペーンについて

市民や事業所への呼びかけ・協力状況について聞く。

3 障害者支援策について

- (1) 拡充について予定を聞く。

(2) 「障がい福祉のしおり」を更新する際、さらなる工夫をしていただきたい。

4 子ども・若者支援を総合的に行うために

子ども・若者育成支援推進法に基づき、協議会を立ち上げ、複数の機関と連携し支援を強化すべきではないか。

5 通学路の安全対策について

21年3月議会で提案したが「カラー舗装」を推進し安全を図るべきではないか。

6 母子の歯の健康を推進する取組みについて

(1) 妊婦検診に歯科検診を追加するよう提案する。

(2) 子どもの健康な歯を守るための取組みを聞く。

12番 伊藤 實 議員

1 10年後の当市のビジョンについて

(1) 第1次総合計画は平成29年度をもって終結することとなっているが、その後の計画はどう考えているのか。

ア 財源の見通しについて

イ 医療、福祉の充実について

ウ 子育て、教育環境の充実について

エ 情報配信、情報収集について

(2) 市長の構想と実現に向けてのその課題と対策は何か。

13番 中島 好人 議員

1 省エネと自然エネルギーで「原発ゼロ」の電力供給体制を。

(1) エネルギー浪費社会から低エネルギー社会への転換

ア 当市における省エネルギー対策について

イ LED導入の促進

(2) 自治会設置の防犯灯にLED導入に対する助成制度の創設を。

2 子育て支援について

(1) 乳幼児医療費助成制度の拡充

(2) 就学援助制度の拡充

3 生活保護行政について

(1) 必要な人が受給できる体制を。

(2) 警官OB配置について